

巻頭特集

大阪大学・大阪外国語大学 統合10周年記念

外国学図書館の歩み

職員レポート

西洋古典資料保存実務研修に参加して

学ぶ人のための情報ページ LS FORUM

学部学生に贈る 科目別 私の学習法

NEWS☆図書館からのお知らせ

Spring Jazz Live開催、他

1921 to 2021, 百年の素描 (スケッチ)

2017年10月1日で、大阪大学と大阪外国語大学の統合からちょうど10年が経ちます。

大阪外国語大学の前身は、1921年に大阪市上本町にて創立された大阪外国語学校です。1945年の大阪大空襲では、図書館の書庫にも火の手が迫りましたが、身を挺して鉄の扉を動かし続けた白井正教授によって、資料は守られました。大きな役割を果たした鉄扉は今も外国学図書館1階の書庫に眠っています。この空襲で書庫を除いた校舎の大部分が焼失したため、校舎は高槻市へ移転することとなりました。

1949年、大阪外国語大学が設置され、79,449冊の資料とともに附属図書館もスタートしました。大学は1952年より高槻と大阪の分散授業を続けたのち、1957年には完全に上本町に戻ることとなります。この頃、図書館の蔵書は10万冊を突破してい

ました。1962年にはLL (Language Laboratory=語学実習装置) 施設を導入し、国立大学で初めてこれを正規授業に取り入れています。

1979年、大学は上本町から現在の箕面市粟生間谷の地に移り、図書館は当時としては最新の設備を導入しました。中でも図書持出防止装置(ブック・ディテクション)、関西最大級の電動書架は注目を浴び、見学者も相次ぎました。

そして2007年10月1日に大阪大学と統合、図書館は箕面分館となり、2年後の2009年に現在の外国学図書館という名称となりました。

2021年、大阪外国語学校が創立されてから100年となるこの年に、箕面キャンパスは箕面市の船場東地区へ移転します。移転に伴い、大学図書館機能と市立図書館機能を兼ね備えた新しい図書館が誕生する予定です。

変わったところ
はどこ？

統合時から現在まで、建物の外見は大きく変わってはいません。

しかし、建物内部のレイアウトは、増え続ける蔵書や利用のニーズに合わせ、改修を繰り返しながら、今日に至っています。

昔 → 今

4階	
LL教室	AVライブラリー AVcommons
2階	
エントランス カウンター	自動貸出機 OPAC 書架
ブラウジング・ ルーム	雑誌室
雑誌コーナー	キャリア支援図 書コーナー
1階	
自習室	るくす
会議室	カウンター 事務室

昔 → 今



かつてのエントランス。統合後も数年はこの位置にありました。

統合、改修、そして移転

2007

大阪大学・大阪外国語大学の統合
旧外大は阪大・箕面キャンパスへ、
図書館も「箕面分館」に。

2012



ラーニング・commons「るくす」完成

2017

統合10周年

2009

「外国学図書館」への名称変更
豊中本館+3分館体制が変更され、
4図書館の名称が現在の形に。

2015



AVライブラリーが総合研究棟
から移設・AVcommons完成

2021

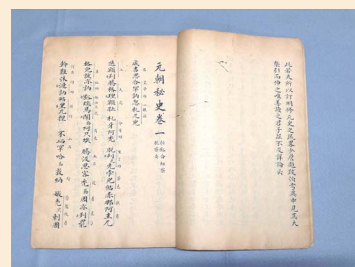
箕面キャンパスの移転
新駅直結の施設内に新図書館が開館
予定。

外大時代から受け継ぐ資料

石濱文庫

大阪外国語学校1期生・石濱純太郎博士旧蔵の約42,000冊に及び学会屈指といわれる東洋学コレクションで、モンゴル語・満州語・西夏語・ウイグル語・チベット語等に関する資料が数多く納められています。さらに漢書・殷墟書契関係文献・敦煌学関係文献、洋書では歴史学・言語学を中心とする東洋学文献は威容を誇っています。

(2014年10月に総合図書館へ移設)



『元朝秘史』

伊地智文庫

中国語教育にご尽力された、元大阪外国語大学長・伊地智善継先生の旧蔵書。2001年に亡くなられた後、2002年5月にご遺族から寄贈されました。中国関係の図書約5,900冊で構成されています。

※p.3の前副館長・杉村先生からの御寄稿文にて、伊地智文庫の資料2点をご紹介します。



黎錦熙 [他] 編著：何炳松校訂
『復興説話教本』1933

この他にも多くの個人文庫・コレクション等を所蔵しています。



前外国学図書館担当
副館長
(名誉教授)

杉村 博文

伊地智文庫の思い出

統合前の図書館にまつわる思い出として、また自らの学生時代の思い出として、伊地智文庫に収められている二冊の本を紹介してみたい。

曹禺著『橋』。曹禺(1910-1996)は現代中国を代表する劇作家で、『橋』は1945年作の二幕劇。主人公は中国に鉄鋼業を起こそうと腐心する民族資本家、舞台は抗日戦争末期の四川省重慶を彷彿させる。本は香港の文藝出版社刊、発行年月日の記載はなく、旧字体の縦書きである。1971年4月、伊地智善継先生は二年生の講読教材としてこの本を選んだ。

浩然著『金光大道』。人民共和国成立後の農村の集団化を文化大革命の思

想と言語で描いた作品で、人民文学出版社1972年5月刊、新字体の横書きである。キッシンジャー訪中(1971年7月)、林彪事件(1971年9月)という激動を経た翌々年の1973年4月、伊地智先生は『金光大道』を後期講読科目の教材とした。作者の浩然(1932-2008)は文化大革命の中で個人の創作を許された唯一の専業作家である。

図書館は人類の営為の記録を集積し拡散する。その意味で図書館は、記録される側の人類にとって晴れがましい反面、畏怖を覚えざるを得ない場所である。伊地智文庫にも多くはないが、人民共和国成立以降を中心に、中国の様々な営為が集められている。

自国産業の振興を目指し大陸に残った民族資本家は人民共和国の階級闘争至上主義によってその多くが悲惨な結末に追いやられた。浩然も文革の否定と同時に文学の表舞台から姿を消し、農村集団化の象徴であった人民公社は文革終焉10年を待たず解体された。



外国学図書館担当
副館長
(言語文化研究科 教授)

青野 繁治

上本町の外大図書館の記憶

1970年代、私は学部生時代を大阪外国語大学の上本町校舎で過ごした。図書館通いをした記憶はあまりないが、図書館についてひとつのことが鮮明な印象として残っている。当時は閲覧室と開架書架がカウンターで仕切られてあり、たくさん原書が並べられているカウンター内に自由に入ることができた。そこでいつもある本の存在が気になっていた。背表紙に「太平天国 牟安世著」の文字が目立つ本だった。太平天国と言えば、世界史の教科書で、洪秀全とか拝上帝会とかいった言葉を見た記憶があった。本を手にとっ

てランダムに頁を開いてみると、端から端まで漢字がぎっしりと詰まっていた。中国語専攻とはいえ、繁体字のこの本は全く歯が立たなかった。こういう本がちゃんと読めるようになりたい、という薄らとした欲求が芽生えた。数年後私は「文革以後の太平天国研究について」の題で卒論を書いた。牟安世の本は読み切れなかったが、卒論を書く過程で、同じ棚にあった羅爾鋼の数冊の本から「洪大全考」を読み、史実のなかにどのようにして虚構の人物が割り込んで行ったか、に関する見事な分析に触発されたのを覚えている。

残念ながら現在の外国学図書館では、最新の定期刊行物を除いて、中国語の原書は多くが書庫置きになっていて、開架にはほとんど並んでいない。原書は貴重な資料だが、学生の目に触れやすくして、興味を喚起できるような工夫が必要だと思う。

きくみみくんの ヒミツ

きくみみくんは外国学図書館のマスコットキャラクターです。登場したのはなんと2005年、大阪外国語大学時代!実はかなりの古株で、長い間外国学図書館にいてくれているのです。そんなきくみみくん、いろんな「顔」があるのをご存知でしたか?時にはキング、時には魔法使い、なんとお餅にも…。

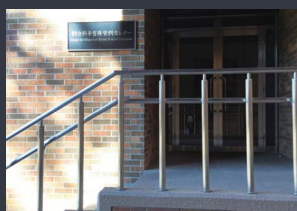
これからも、何かある度にたくさんの「顔」を見せてくれるでしょう。お楽しみに!



今も2階にいる、
初代きくみみくん。



研修先紹介

一橋大学社会科学
古典資料センター

一橋大学社会科学古典資料センターは、西洋古典資料に特化した国内唯一の研究図書館です。また、館内に専用の貴重書保存修復工房を持つ希少な機関でもあります。センター所蔵の貴重書約8万点に対し、20年の間保存修復に努めて来られました。

またセンターでは、その西洋古典資料の保存についての知識と経験を、全国の他大学の図書館職員に継承することを目的として、「西洋古典資料保存講習会」等を開催されています。

1、はじめに

2017年1月23日～3月3日（土日祝除く）の6週間、東京都国立市にある一橋大学社会科学古典資料センター（以下、センター）にて、西洋古典資料保存実務研修に参加させていただきました。ご報告を兼ねて研修内容をご紹介します。

この研修は、西洋古典資料の保存について各地区の人材育成を先導する中核的な専門人材を育成することを目的としたもので、所属機関の実情に合わせたカリキュラムによって行われました。



センター内貴重書保存修復工房

2、西洋古典資料の保存

一冊の本を貴重書として後世に残すためには、まずその本の現在の状態を知る必要があります。これを劣化調査と呼びます。次に、一冊一冊の劣化状況に応じた手当を講じます。これを処方と呼びます。その処方に基づき、修理や保存容器の作成といった、実際の処置を行うことになります。

i. 劣化調査

センター内の貴重書保存修復工房（以下、修復工房）において基本としていたのが、この劣化調査でした。劣化調査は、書庫から修復工房に運んできた資料一点一点に対しクリーニングを行った後、どのような構造・素材・劣化状況であるかを細部まで調査し、記

録する作業です。「表紙」「背」「とじ」「見返し」「本文紙」という本の各部分に対して、どのような素材が用いられ、どのような構造になっており、手に取った今日現在どこまで劣化が進んでいるのかを調査します。修復工房で使用されていたカルテ（調査票）はおよそ選択式で、ありのままを確認し選択肢から選んで記録するだけではありませんが、初めての経験ではその選択が大変難しく感じました。たとえば表紙について、構造を決める一手となる芯材や支持体は、革や布の表装材で覆われ、あるいは紙の見返して隠されているため、目で見ることができません。そのような場合は指先の感覚や、経験による判断で記録を取っていくことになります。

少しずつ劣化調査に慣れて来たころに、その調査結果をもとに、どのような保存・修復を施すべきか判断する、処方についても実習させていただきました。この処方を行うことによって、より正確な処置の方法を判断するためには、劣化調査、つまり資料の現状を正確に把握することが不可欠であるということを一層理解できました。

この調査結果と処方とをきちんと記録しておくことにより、後に虫害等の起こった場合にもすぐ対処でき、また修理等に関する新説が発表された場合にも即座に対応可能となるとのことでした。

今回は実務研修ということで、全体で6週間という落ち着いた取り組みの期間であったことから、この劣化調査についても、調査内容について、各項目の必要性や、その項目においてなぜその選択になるのかなど、疑問をもって取り組む段階まで考えを深めることができました。さらに研修生が同時期に一人だけという状況で、センターの皆様すぐに質問させていただけたこと、あるいは議論させていただけたことは、大変有り難い経験となりました。

ii. 様々な手当

①修理

センターの現在の方針は原装保存、つまり造本・装丁も含めたモノとしての資料をそのまま保存するよう努めており、構造に手を入れるような修復は行ってないということでした。従って、資料本体に対して加える処置は、ページの修理と、劣化した革装に対するHPC（ヒドロキシプロピルセルロース）の塗布となります。

②保存容器

壊れたものを直す修理に対し、保存容器は現状以上に壊れないようにする予防措置です。ノド部分が破損しているなど構造的に劣化したものや、分離したパーツのある資料に対して修理を施すと、原装保存の原則から外れてしまいます。一方、保存容器に入れることで、資料を安定した環境に置くこととなり、原装を保持したままそれ以降の劣化を防ぐことができます。

研修では、一般的な保存箱のほか、薄型資料に用いる「フォルダー」や、主に表装材が劣化した資料に用いる「ジャケット」等も作成しました。修復工房では、これらの保存容器を基としながら、一点一点状態の異なる貴重書に対応する新しい形の保存箱を創意工夫されていました。



修理用生麩糊の作成



羽付ジャケット

3. 当館での実務に向けて

先に述べた劣化調査は、保存作業の基本となるものでありながら、1カ月以上丁寧に教えていただいてやっと基礎が身に着くような難しい作業でした。そのような作業を長年引き継いでいくことは困難なので、センターの

皆様にご協力いただき、当館でも活用できる劣化調査のカルテを作成しました。修復工房でお使いのカルテにある、詳細な項目の一つ一つを掘り下げ、その項目を調査することでこういった解を得られるのか、その項目の当館における要不要を検討しました。同時に、経験に基づく感覚によって判断しなければならない選択肢は、できるだけ客観的な知識のみによって判断できるように精査しました。

出来上がったカルテは、修復工房のものと比べると詳細さには欠けるものの、当館の実情に即した長期間続けられるようなものになったと思います。

他に、道具や設備の不足という点においても、保存箱の作成など、当館でも作成可能なものを一緒に検討していただきました。

4. おわりに

今回の研修は、長期間にわたり密に資料保存、修復について学ばせていただけるまたとない機会でした。ここに記載した以外にも、基礎知識を増やすためのご講義や、虫害への対応等の環境整備など、細やかに様々な経験をさせていただきました。

末筆ながら、根気強く沢山ご教示くださいましたセンターの皆様には心より感謝申し上げます。また事務手続き等でお世話になった一橋大学附属図書館の皆様、このような研修に送り出してくださった目録担当はじめ大阪大学附属図書館の皆様にも、深く御礼申し上げます。



大型裁断機シザイク

大阪大学所蔵の 西洋古典籍

『An inquiry into the
nature and causes of
the wealth of nations』
by Adam Smith



アダム・スミス『国富論』の1776年初版本です。総合図書館C棟3階の貴重コレクション室にあります。大型コレクション「アダム・スミス著作及び研究コレクション」の一冊で、『国富論』では他にダブリン版の初版本（1776年）や、フランス語訳、ドイツ語訳、イタリア語訳の諸版も所蔵しています。

その他コレクションの紹介は附属図書館Webサイトをご覧ください。

附属図書館Webサイト>さがす
>コレクション・電子化資料
>コレクション

LS FORUM



LS講習会・展示
(2017.2~8)

総合図書館

講習会

- ・WolframAlphaを使ってみよう！
- ・児童労働とフェアトレード
- ・未来の仕事はどうなっていくのだろうか？
- ・LSが伝授！大学生の基本・2種
- ・LaTeXを使ってみよう！
- ・レポートの書き方・文章の読み方
- ・化学概論のための量子化学
- ・外国語会話サブリ（ロシア語・中国語）
- ・Youは何しに留学へ？
- ・レポート作成 テーマの見つけ方・深め方

図書展示

- ・2017年は〇〇がアツい！



Youは何しに留学へ？

生命科学図書館

講習会

- ・START ENGLISH TODAY ~スマホとPCがあれば、えいごは話せる、TOEICは400点あがる~
- ・そのパワポ、伝わりません！~わかりやすいパワポデザインのコツ、教えます~
- ・そのパワポ、伝わりません！~わかりやすいパワポのストーリー構成・発表のコツ、教えます~
- ・レポート作成法

図書展示

- ・こんにちは、ラーニング・サポーターです！



START ENGLISH TODAY

化学 (量子化学)



POINT

軌道と電子移動の考え方

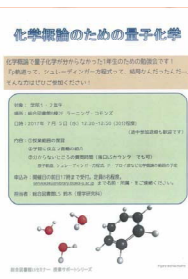
総合図書館LS
理学研究科・M2
鈴木 那由太

基本的には教科書の問題をしっかりと解いて、反応機構を覚えることが重要です。しかし、闇雲に覚えるのではなく、ポイントがあります。それは軌道と電子移動の考え方です。これは量子化学で学ぶ考え方ですが、数学や物理がたくさん出るので初学者は敬遠しがちです。しかし、この分野を学ぶことで分子の形や電子の動きを生き生きと思い描くことができるようになります。私も初めは分かりませんでした。たくさん本を調べたり、数式の意味を考えたりすることで、

身に着けることができました。私は学習支援活動を通して、この分野の学習補助を行っています。また、「化学概論のための量子化学」という題名で、セミナーも行いました。もし分からずに困っている方は、遠慮なく相談に来てください！お待ちしております。

編集担当メモ①

LSの専門分野・経験を活かした講習会



授業の理解を補助するもの、最先端の研究成果紹介、大学院進学・留学の相談会など、内容は多岐にわたります。

開催情報はWebサイトやツイッターでお知らせしています。

Webサイト>しらべる>学習・研究のサポート>講習会の開催情報

レポート作成法



POINT

書く方法の学習で育つ4技能

生命科学図書館LS
歯学研究科・D4
河野 奨

レポートを書く方法について学習支援することを通じて、学生が以下の4つを行うことを目標とし、LS業務を行っています。

- ①ただ教えられるだけの受け身の「学び」から、学生自身が主体的に「学ぶ」姿勢(学問をする姿勢)を身に着ける
- ②テーマについて考え抜き、新しいアイデア・価値を創出する
- ③文章構成・論理展開を考察し、相手に自分の考えを伝え、正当性を主張する
- ④将来、企画書・論文などを書くために

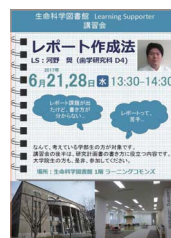
必要な技術を学ぶ

2017年5月にはLSが推薦する図書展示を行い、アカデミック・スキル向上に役立つ図書や神経生理学の入門書の紹介をしました。6月には「レポート作成法」の講習会を実施しました。実際に参加した院生の方から、「研究計画書作成に役立つ」、「レポートの書き方を教育する際の指導方法の参考になる」という意見を頂きました。

また、主に歯学部生に対する学習相談や研究室生活の悩み相談などを行っています。

編集担当メモ②

アカデミック・スキルを学ぶ講習会



大学での学びの基礎となる、レポートの書き方、文章の読み方、プレゼンの方法、外国語学習などに関する講習会も充実しています。

※Webページはメモ①に同じ。

学部学生に贈る 科目別 私の学習法

LS講習会・展示
(2017.2~8)

理工学図書館

講習会

- ・エンジニアが未来の医療をつくる～レーザーを使ったがん治療の未来～
- ・ひかりのカ・レーザーの可能性
- ・マイクロ・ナノレベルの世界
- ・Origami Engineering～理工系のための折り紙～
- ・次世代の水素エネルギー社会について～基礎から最先端の研究まで～
- ・公開鍵暗号という革命～セキュリティを支える数学の世界～
- ・人の発想を超えたデザイン～トポロジー最適化をアプリで体験しよう～

図書展示

- ・幅広い知識を身につけよう！
- ・建築家・安藤忠雄の世界
- ・金属疲労から学ぶ ストレス社会に打ち勝つための術
- ・グローバルな研究者になろう



次世代の水素エネルギー社会について

外国学図書館

講習会

- ・TOEFL対策講座
- ・ハンガリーと難民問題
- ・文系、しかも「ゼロ」(だ)から始める！プログラミング的なこと入門
- ・ハンガリー語文献の探し方講座
- ・CNKI 利用基本操作講習
- ・「リアル」vs. 「フィクション」：トランプ時代の米国と文学
- ・永遠の異文化摩擦 協調型の日本人 vs. 攻撃型の中国人

図書展示

- ・LS Recommended Books
- ・外国語で読む絵本～くすくすLSと見る多言語の世界～



CNKI 利用基本操作講習

物理学 (材料力学)



POINT

公式を原理から導出する習慣

理工学図書館LS
工学研究科・M2
大賀 隆寛

材料力学は比較的取り組みやすい科目ですが、その分「公式や解法の丸暗記」に頼る人が多い科目であるように思います。しかし、それでは研究などで公式に当てはまらない問題に直面したときに手も足も出ない状況になってしまいます。

そこで私は、物理の原理原則に立ち戻る学習法を実践していました。常に教科書を持ち歩き、問題を解く際に使う公式を確認したらその公式を原理から導出するのです。最初は丸暗記の何十倍も時間がかかりました。しかし慣れてくると公

式を見ると同時に導出が頭に浮かぶようになります。また自分で考えるクセが付き難しい問題に出会っても自分なりに考えを展開できるようになります。

LSデスクではこのような各科目の学習法の相談にも対応します。各LSの専攻や得意分野は時間割に掲載していますので、専攻科目の質問がある人は、その専攻の先輩の従事時間割がけて来ることをオススメします！

編集担当メモ③

LSデスクでの学習相談



大賀さんのLS紹介ポスターとLS時間割

授業期間の平日に、各館ラウンジ・commons、グローバル・commonsで待機していますので、いつでも気軽に相談してください。WebサイトでLSの専門分野、時間割を確認できます。

Webサイト>しらべろ>ラウンジサポートデスク

語学 (文献読解)



POINT

「良い」辞書と基本文法の復習

外国学図書館LS
人間科学研究科・M2
青山 瑞季

外国語学部ハンガリー語専攻卒で、大学院ではハンガリーの近現代史を専門にしています。

外国語学部の学生に多いのが、専攻語の話すスキルは高いのに、読解が苦手、という人。特に少し高度な文献となると全然読めない、という人が多いと思います。しかし多くの専攻語では、卒論執筆の際に専攻語で書かれた文献の使用を求められると思います。私もハンガリー語の歴史書を読み始めた頃は、全く読めず苦労しました。そこで外国語文献を読む

スキルをつけるのに、大事だと思うことを挙げます。

まず、「良い」辞書を使いましょう。会話するのに事足りる程度の単語しか載っていない辞書は、読解の際にはあまり役立ちません。文献によっては専門用語が出てくる事もあるので、その分野に合った辞書を使う事も大切です。それから、高度な文献の文章は、非常に複雑な文法構造になっている事が多いので、基本的な文法事項をおさらいしながら、丁寧に読むことを心がけましょう。

編集担当メモ④

外国語学部教員お薦めの語学辞書



写真は青山さん推薦のハンガリー語辞書『Magyar értelmező kéziszótár』

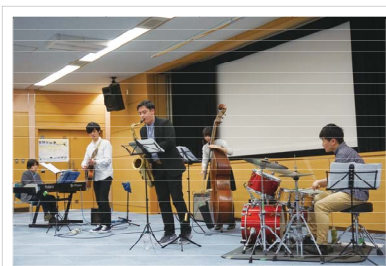
Webサイト>しらべろ>資料の調べ方ガイド>定義や概要を調べる>外国語学部教員お薦めの語学辞書

NEWS☆図書館からのお知らせ (2017.2~2017.8)

イベント

◆附属図書館イベント「Spring Jazz Live」(総合・3月)
2017年3月10日に、総合図書館6階図書館ホールにて附属図書館イベント「Spring Jazz Live」を開催しました。大阪大学軽音楽部SWINGの方々により「いつか王子様が」「ムーンリバー」などの楽曲が演奏され、59名の方が楽しいひとときを過ごしました。

♪参加者の感想♪
「図書館で、こんな本格的なジャズがきけるとは思えない、楽しいライブでした」



- ◆ハンガリー関連イベント(外国学)
 - ・芥川龍之介の『芋粥』vs. ハンガリーの作家モーリツ・ジグモンドの『悲劇』(6月)
 - ・トランシルヴァニア地方の伝統文化と刺繍(6月)
- ◆高校生に宛てたメッセージを募集中!(外国学・7~8月)

図書展示

- ・ブックコレクション 教員 vs. 学生 書評対決
(毎月入替) [総合・理工学]
- ・「大阪大学司馬遼太郎記念学術講演会」コラボ企画
(6月) [総合・理工学・外国学]
- ◆総合図書館◆
 - ・どなたか、読んでください…貸出0の本たちフェア(5月)
 - ・文庫・新書貸出ベスト50(8月)
- ◆生命科学図書館◆
 - ・医療の専門家を目指すあなたに(8月)
- ◆理工学図書館◆
 - ・この春あらためて学ぶレポートの書き方(4月)
 - ・どなたか、読んでください…貸出0の本たちフェア(5月)
 - ・2017年一後半も天体ショーが目白押し!(8月)
- ◆外国学図書館◆
 - ・第12回 専攻語図書リレー展示「フィリピン語」(2月)
 - ・第13回 専攻語図書リレー展示「イタリア語」(4月)
 - ・第57回 14冊の本棚「日本語に触れよう 14冊+α」
(6~7月)
 - ・第58回 14冊の本棚「150にまつわる本 14冊+α」
(7~8月)

講習会

図書館では様々な講習会を企画しています。開催情報は、随時かわらばん・Webサイト等にてお知らせします。

◆データベース利用講習会 [総合・理工学・外国学]

- 5/16 Scopus
- 5/18・7/14 Mendeley
- 5/19 SciFinder
- 5/23 Reaxys
- 5/26 Web of Science
- 6/8・7/13
EndNote basic
- 6/15・16 ProQuest Research Library/
MLA International Bibliography



- ◆総合図書館
 - ・としょかん春のスタディ・スキルまつり
「大学生の基本・5種をマスター」(4~5月)
 - ・としょかん初夏のスタディ・クエスト
「レベルアップアイテム3種を手に入れる!」(6月)
 - ・最速最短! 大学院生・研究者のためのフルテキスト入手法
(6月)
 - ・期間限定! レポートの書き方相談コーナー
先生に相談できます!(7~8月)
- ◆理工学図書館
 - ・工学系の論文の探し方入門: 超入門編(5月)
 - ・工学系の論文の探し方入門: 基礎編(6月)
- ◆外国学図書館
 - ・論文検索ガイダンス(5月)